

2018年度（平成30年度）

# 冬休みにおすすめする本

選定 北海道学校図書館協会

選定協力 札幌市学校図書館協議会

	表紙画像	書名 著者名他 ISBNコード	出版社 出版年(月) 本体価格	※選定コメント もしくは出版社による紹介など
<b>幼児</b>				
1		<b>やきいもや ゴンラ</b> ながい いくこ／作 くすはら 順子／絵 978-4-591-15989-7	<b>ポプラ社</b> 2018.9 1,300円+税	大草原にある「ゴンラのやきいもや」は大人気。 「心までとろけるおいしさ」と評判。 毎日、毎日、いものことだけを考えて一心不乱に取りくむ姿は、まさに職人。動物たちはみんな待っています。
2		<b>かあさんだいすき</b> シャーロット・ゾロトウ／文 シャーロット・ヴォーク／絵 松井 るり子／訳 978-4-19-864712-4	<b>徳間書店</b> 2018.10 1,700円+税	風の強い秋の日の夕方、エレンと母さんは手をつなぎ歩きます。 「ねえ、かあさん、なにかんがえてるの？」 エレンが聞きかかった一言は？ 親子の愛情あふれる一時を温かく描いており、親子で読んでほしい絵本。
3		<b>わたしの森に</b> アーサー・ピナード／文 田島 征三／絵 978-4-7743-2796-9	<b>くもん出版</b> 2018.8 1,400円+税	田島征三とアーサー・ピナードが雪国の森の奥で見つけた、鼻先からしっぽまで包まれる物語。（帯より）
4		<b>わにのだんす</b> 今井 雅子／文 島袋 千栄／絵 978-4-8021-3109-4	<b>エンブックス</b> 2018.7 1,400円+税	道端で、ダンスをはじめたワニ。 たくさんのお金を稼ぎました。 ある日、出会った ワニの子どもたちは、ワニのダンスを見て、たくさん の笑顔をくれました。
5		<b>まいごのたまご</b> アレックス・ラティマー／作 聞かせ屋。けいたろう／訳 978-4-04-106563-1	<b>KADOKAWA</b> 2018.6 1,400円+税	山から コロコロと 転がり落ちた たまご。 一体誰の たまごでしょうか。 太陽が、沈んでいきます。 そのとき、太陽の光がたまごを照らして……。
<b>小学校・低学年</b>				
1		<b>とんがりぼうしのオシツプ 赤い糸のぼうけん</b> アンネマリー・ファン・ハーリンゲン／作 野坂 悦子／訳 978-4-7764-0855-0	<b>BL出版</b> 2018.6 1,400円+税	とんがりぼうしのオシツプが赤い糸を見つけました。 ずんずん糸を手繰っていった先にいたのは……？ 挿絵も魅力的です。
2		<b>あかんぼっかん</b> ザ・キャビンカンパニー／作 978-4-03-332850-8	<b>偕成社</b> 2018.5 1,500円+税	火をふいて誕生した島。それは赤ん坊の誕生と同じ。 赤ん坊が生まれ生きるように、大地も生きている。
3		<b>かぜのひ</b> サム・アッシャー／作・絵 吉上 恭太／訳 978-4-19-864692-9	<b>徳間書店</b> 2018.9 1,600円+税	風が強くふいていて、男の子は外に遊びに行きたくてたまらない。 けれど、おじいちゃんとはたこあげをしようと、たこ探し。 風の日を楽しむ おじいちゃんと男の子をファンタジックに描いた絵本。  「あめのひ」の姉妹編

4		<b>あめだま</b> ベク・ヒナ／作 長谷川 義史／訳 978-4-89309-648-7	<b>ブロンズ新社</b> 2018.8 1,500円+税	一人ぼっちで遊ぶドンドンが見つけたのは、6つのあめだま。 食べると、ソファの音が聞こえて、犬のグスリとも話せて……。 あめだまを通して周囲の愛に気づく少年の物語。
5		<b>スタンリーとちいさな火星人</b> サイモン・ジェームズ／作 千葉 茂樹／訳 978-4-7515-2840-2	<b>あすなろ書房</b> 2018.8 1,400円+税	お母さんが泊まりがけで仕事に出かけた日、スタンリーは、庭に出て宇宙船に乗りこみ火星へ飛びたった。 すると、入れ替わりにやってきたのは……。 母のいない、さみしさを隠す少年の姿がいろいろな絵本。
6		<b>とおくまで</b> 曹 文軒／文 ボーデ・ポールセン／絵 いわや きくこ／訳 978-4-901769-79-2	<b>樹立社</b> 2018.7 1,500円+税	立ち止まって遠くをながめると、何が見える……。？ ハスの葉にとんできたカエルが一番高く美しい葉の上に行き、じっとしています。 カエルが大事にしていた思いとは？
7		<b>ソフィーとちいさなおともだち</b> パット・ジトロウ・ミラー／文 アン・ウィルドルフ／絵 二宮 由紀子／訳 978-4-89572-218-6	<b>光村教育図書</b> 2018.8 1,400円+税	ファーマーズ・マーケットで買って来た かぼちゃは、抱っこするのにぴったり。 ソフィーは「本当のおともだち！」と大喜び。 でも、次第に傷んでいくかぼちゃにソフィーは……。
8		<b>このいえもむかしは</b> ジュリー・フォリアーノ／文 レイン・スミス／絵 青山 南／訳 978-4-7764-0825-3	<b>BL出版</b> 2018.7 1,600円+税	森の奥深くに見つけた古い家は誰が暮らしていたのだろうか。 子ども達の想像はどこまでも広がるのでした。 挿絵も魅力的です。
9		<b>バッタロボットのぼうけん</b> まつおか たつひで／〔作〕 978-4-591-15882-1	<b>ポプラ社</b> 2018.6 1,500円+税	不思議なバッタロボットに乗って世界の大自然を冒険します。 面白く知識欲をわきたたせる絵本です。
10		<b>クリスマスの女の子</b> ルーマー・ゴッデン／作 久慈 美貴／訳 たかお ゆうこ／絵 978-4-19-864713-1	<b>徳間書店</b> 2018.10 1,400円+税	クリスマスのお人形ホリーと、孤児院に住んでいたアイビーが、お互いを見つけ「安心できる自分の場所」にたどりつくまでのお話です。 シリーズ「四つの人形のお話」3
<b>小学校・中学年</b>				
1		<b>テオのふしぎなクリスマス</b> キャサリン・ランデル／文 エミリー・サットン／絵 越智 典子／訳 978-4-902257-35-9	<b>ゴブリン書房</b> 2017.11 1,500円+税	クリスマスイブなのに、両親は仕事のため留守で、ベビーシッターにもほったらかしにされたテオ。 流れ星に「誰か一緒にいて」と願うと、古い飾りが動き出し……。 絵が美しい物語。
2		<b>ナージャの5つのがっこう</b> キリーロバ・ナージャ／文 市原 淳／絵 978-4-477-03130-9	<b>大日本図書</b> 2018.9 1,400円+税	ナージャが、本当に体験した5つの国の5つの学校。 「えっ！」「そうなの？」「本当かな？」、教室が違っていると、面白いことがいっぱい。 ナージャと一緒に学校の旅に出てみよう。

3		<b>ぼくのジユウな字</b> 春間 美幸／作 黒須 高嶺／絵 978-4-06-512954-8	<b>講談社</b> 2018.9 1,300円＋税	「字なんて読めるならいいじゃん」と思っているタツヒコ。そのタツヒコが友達に一字一字丁寧に手紙を書くように……。ミチコ先生の指導とは？字について楽しく考える物語。
4		<b>ぼくは発明家 アレクサンダー・グラハム・ベル</b> メアリー・アン・フレイザー／作 おびか ゆうこ／訳 978-4-908255-64-9	<b>廣済堂 あかつき</b> 2017.11 1,600円＋税	電話の発明で知られるベルを子ども時代から描いた伝記絵本。字は小さめだが、ゴシック体で、総ルビがあり、ページのなかに言葉の説明や写真・絵もある。
5		<b>藤吉じいとイノシシ</b> 椋 鳩十／作 保立 葉菜／絵 978-4-652-20235-7	<b>理論社</b> 2017.11 1,500円＋税	南アルプス山麓に住む 藤吉じいさんと、町で育った孫の一郎と山のイノシシのちょっと変わった出会いの本。椋 鳩十の世界を、気鋭の画家の絵で味わえます。
6		<b>ホッキョクグマ</b> ジェニ・デズモンド／作 福本由紀子／訳 長瀬健二郎／日本語版監修 978-4-7764-0782-9	<b>BL出版</b> 2018.3 1,600円＋税	北極海とその周辺の陸地の氷と雪の上で生きているホッキョクグマ。実際は、ほとんど目にする事のない野生のホッキョクグマの生態を子どもを通して伝えている。
7		<b>消えた時間割</b> 西村 友里／作 大庭 賢哉／絵 978-4-05-204679-7	<b>学研プラス</b> 2018.5 1,300円＋税	配られた時間割に、墨汁が飛び散った。わたしの時間割にあった、月曜日の「体育 鉄棒」が、墨汁の消したとおりに本当になくなってしまった……。これって、偶然？
8		<b>アニマルズ 生きもののおどろき 120</b> エマ・ドッズ／文 マーク・アスピナル／絵 福岡 伸一／訳 978-4-591-15679-7	<b>ポプラ社</b> 2018.3 1,500円＋税	動物や昆虫たちまつわるおもしろい話が120書かれていて、人間と比べながら楽しく読むことができる。色と絵が明るい。
9		<b>あのとき、そこにきみがいた。 2016年4月熊本地震の現場から</b> やじま ますみ／作・絵 978-4-591-15808-1	<b>ポプラ社</b> 2018.3 1,400円＋税	2016年の熊本地震で、一家で被災したイラストレーターの著者による被災者の様子を描いた絵本。絶望のむこうに著者がみいだした、生きる力と希望のかたち。
10		<b>冬の星座を見つけよう</b> 赤木 かん子／作 978-4-7875-8668-1	<b>新樹社</b> 2018.5 1,400円＋税	星を見る第一歩として、一等星を見つけられるようにと、作られた本。オリオン座、冬の大三角、冬のダイヤモンド……。実際に夜空に観察に行く前に、ぴったりのシリーズ。
<b>小学校・高学年</b>				
1		<b>凸凹あいうえおの手紙</b> 別司 芳子／著 ながおか えつこ／絵 978-4-7743-2750-1	<b>くもん出版</b> 2018.6 1,400円＋税	交流会の案内を出したのに、ちっとも来てくれない佐山さん。実は目が不自由なおばあさんだった。亡くなったおばあちゃんと佐山さんを重ね合わせ、こっそり点字を勉強し始める6年生の大地が、人との出会いによって成長していく物語。

2		<b>メロンに付いていた手紙</b> 本田 有明／文 宮尾 和孝／絵 978-4-309-02696-1	<b>河出書房新社</b> 2018.6 1,300円＋税	誕生日のプレゼントの一つとして、お母さんが買ってきた夕張メロン。そのメロンの箱の中に1通の手紙が入っていた。そこから、東京と夕張の遠く離れた二人の少年の大冒険が始まった。まるごと夕張のことが詰まった1冊。
3		<b>たかが犬、なんて言わないで</b> リブ・フローデ／作 木村 由利子／訳 柴田 文香／絵 978-4-580-82351-8	<b>文研出版</b> 2018.6 1,400円＋税	愛犬を亡くしたヤーコプ。もう二度と犬なんて欲しくないと愛犬の死を受け入れられずにいた。そんな時、迷い犬を町でよく見かけるようになる。彼と迷い犬との心がつながっていく成長物語。
4		<b>デニムさん 気仙沼・オイカワデニムが作る 復興のジーンズ</b> 今関 信子／文 978-4-333-02780-4	<b>佼成出版社</b> 2018.7 1,500円＋税	9.11東日本大震災により津波被害など様々な困難がおそいかかった縫製工場・オイカワデニム。地元の人からもデニムさんと愛され、いくつもの大波小波を乗り越えて、復興のミシンが音を響かせる。
5		<b>ゲンバクとよばれた少年</b> 中村 由一／著 渡辺 考／聞き書き 宮尾 和孝／絵 978-4-06-221034-8	<b>講談社</b> 2018.7 1,200円＋税	2歳の時に原爆により被爆した中村さん、なんとか生き延びたが「ゲンバク」と呼ばれ、いじめや差別を体験します。70年以上の年月が流れ、今、子どもたちに伝えたい平和への思い。
6		<b>みんなちがって、それでいい パラ陸上から私が教わったこと</b> 宮崎 恵理／著 重本 沙絵／監修 978-4-591-15945-3	<b>ポプラ社</b> 2018.8 1,300円＋税	パラリンピック陸上の重本選手は、生まれつき右うでのひじから先がない。小学校から大学生までずっとハンドボールの選手として活躍してきた。本格的にパラ陸上に取り組みようになり、「障がいのある自分」と向かい合う。
7		<b>星を見あげたふたりの夏</b> シンシア・ロード／著 吉井 知代子／訳 丹地 陽子／絵 978-4-251-06573-5	<b>あかね書房</b> 2018.8 1,400円＋税	親友ハンナと最近気持ちのすれ違いを感じていたリリーは、ラッキーのおかげでサルマに出会います。ブルーベリー農園で働く出稼ぎ労働者のサルマの美意識や前向きな姿勢に感化され、新しい挑戦をします。2人の成長と友情が清々しい1冊。
8		<b>赤はな先生に会いたい！</b> 副島 賢和／著 978-4-323-06095-8	<b>金の星社</b> 2018.8 1,400円＋税	院内学級の赤はな先生をしている著者が、子どもたちとの出会いを通して「生きていく」ことについて考えたことを、分かりやすく語りかけてくれる。自分・友達を考えるきっかけになる。  ノンフィクション「知られざる世界」シリーズ
9		<b>稲妻で時をこえろ！</b> 小森 香折／作 柴田 純与／絵 978-4-580-82348-8	<b>文研出版</b> 2018.8 1,300円＋税	校庭に雷が落ちてタイムスリップした6年生の紺野瞬。謎の少女青木美月を巡って更に過去を行き来し、自分の周りの人たちのつながりや歴史を知り、自分自身でジャンプする強さを見つけていく。
10		<b>よくばり学園</b> ファブリツィオ・シレイ／著 佐藤 まどか／訳 中垣 ゆたか／画 978-4-06-283251-9	<b>講談社</b> 2018.6 1,450円＋税	ケチで欲張りな両親。息子のプリモは、とても心優しい男の子。そんな息子に欲張りさを教えこむため、よくばり学園に入学させます。よくばり学園に革命を起こす、プリモのドタバタ物語。

2018年度（平成30年度）

# 冬休みにおすすめする本

選定 北海道学校図書館協会

選定協力 札幌市学校図書館協議会

	表紙画像	書名 著者名他 ISBNコード	出版社 出版年(月) 本体価格	※選定コメント もしくは出版社による紹介など
<b>中学校</b>				
1		<b>気がつけば動物学者三代</b> 今泉 忠明／著 978-4-06-511909-9	講談社 2018.7 1,200円+税	ベストセラー『ざんねんないきもの辞典』監修者が、動物学者になるまでと、これまでの人生を語る。
2		<b>泥</b> ルイス・サッカー／作 千葉 茂樹／訳 978-4-09-290622-8	小学館 2018.7 1,400円+税	立ち入り禁止の森にあった泥。 わけのわからない病気。 人類初のクリーン・エネルギーの正体は。
3		<b>母が作ってくれたすごろく ジャワ島日本軍抑留所での 子ども時代</b> アネ＝ルト・ウェルトハイム／文 長山 さき／訳 978-4-19-864644-8	徳間書店 2018.6 1,600円+税	8歳からの2年あまりをインドネシアの抑留所で過ごしたオランダ人女性が、当時使っていた品々や絵に寄せて子どもの目から見た戦争と抑留生活を語る。心に残る記録。（カバーより）
4		<b>ノベライズ パパはわるものチャンピオン</b> 藤村 享平／脚本 板橋 雅弘／著 978-4-265-80241-8	岩崎書店 2018.6 1,300円+税	絵本『パパのしごととわるものです』『パパはわるものチャンピオン』を原作とする映画の脚本をもとにしたノベライズ。
5		<b>ギヴ・ミー・ア・チャンス 犬と少年の再出発</b> 大塚 敦子／著 978-4-06-513000-1	講談社 2018.9 1,300円+税	千葉県八街少年院での「保護犬」を訓練するプログラム。 犬と少年が心を通い合わせ、共に成長していく。
6		<b>ぼくがスカートをはく日</b> エイミ・ポロンスキー／著 西田 佳子／訳 978-4-05-204684-1	学研プラス 2018.8 1,500円+税	12歳のグレイソンは女の子の姿になりたい少年。 学校でも、親が亡くなってから引き取られた叔父の家でも、秘密を抱えて生きている。
7		<b>疾風の女子マネ！</b> まはら 三桃／著 978-4-09-289762-5	小学館 2018.6 1,400円+税	“いい男狙い”で、運動部のマネージャーを志望した咲良は、しだいに考えを変えていく。 高校陸上部青春物語。

8		<b>ガラスの梨 ちいやんの戦争</b> 越水 利江子／作 牧野 千穂／絵 978-4-591-15908-8	<b>ポプラ社</b> 2018.7 1,500円＋税	昭和16年の大阪。 小学3年生の笑生子とその家族は、戦争に翻弄されていく。
9		<b>ナチスに挑戦した少年たち</b> フィリップ・フーズ／作 金原 瑞人／訳 978-4-09-290613-6	<b>小学館</b> 2018.7 1,500円＋税	ドイツ軍に占領されていたデンマークに「チャーチルクラブ」という抵抗活動を行った少年たちがいた。 彼らの一人が語る。
10		<b>ドリーム・プロジェクト</b> 濱野 京子／著 978-4-569-78777-0	<b>PHP研究所</b> 2018.6 1,400円＋税	昔住んでいた家を懐かしむ祖父を気にかける拓真。 家を修理し、憩いの場にするために、「クラウドファンディング」に挑戦する。
<b>高等学校</b>				
1		<b>ニードルス</b> 花村 萬月／著 978-4-04-106655-3	<b>KADOKAWA</b> 2018.6 1,700円＋税	都内随一偏差値最低の高校に通う伊織は、仲間4人でバンドを結成する。 兄の助力を受け、伝説的なロックバンド「ニードルス」が誕生。 天賦の才の輝きと破滅を描くロック小説。
2		<b>モンテレッジオ 小さな村の旅する本屋の物語</b> 内田 洋子／著 978-4-908925-29-0	<b>方丈社</b> 2018.4 1,800円＋税	ヴェネツィアの本屋店主の「代々、本の行商人でした」の一言からそれは始まった。 イタリア在住の著者が追いかけた、本と本屋の素敵な物語。
3		<b>ののはな通信</b> 三浦 しをん／著 978-4-04-101980-1	<b>KADOKAWA</b> 2018.5 1,600円＋税	ミッション系の女子高に通うクールな秀才とほんわか娘。 学校だけでは喋り足らず手紙を交換している。 高校から大学、そして40代になった二人の人生を書簡で描く。
4		<b>一発屋芸人列伝</b> 山田 ルイ53世／著 978-4-10-351921-8	<b>新潮社</b> 2018.5 1,300円＋税	ワンフレーズ、ワンアクションがたまたま大当たり！ そのフィーバーと後の凋落と挫折。 そんな一発屋芸人たちのその後の人生のノンフィクション。  新潮文庫（2020年12月 590円＋税）
5		<b>ヤングケアラー 介護を担う子ども・若者の現実</b> 澁谷 智子／著 978-4-12-102488-6	<b>中央公論新社</b> 2018.5 800円＋税	介護に直面した若者（18歳以下と規定）に関するレポート。 理由や環境は様々であるが、孤独な立場と辛さが増幅する現実は厳しい。  中公新書 2488